

愛板200号記念

座談会

“愛板20年の歩み”

出席者

日比野理事長 清水専務理事
樽井副理事長 (株)池田商店社長
平野副理事長 <司会>
村上副理事 斉藤広報委員長



愛知県
板金工業組合

名古屋市中区昭和3-8-6
北山町 電話 732-1226
発行 広報委員会

司会

本日は皆様大変お忙しいところ、お集り頂き有難うございました。ご案内の様に組合の機関紙「愛板」が10月号で第200号を迎えることとなります。第1号が昭和42年7月に発行されてから19年3ヶ月目で200号という事になります。それで過去愛板が果たして来た役割、県板の今後の展望などをテーマに、お気軽にお話しただきたいと思ひます。それでは皆さん一言づつ伺って参りたいとお願ひ致します。よろしくお願ひ致します。

まず皆さんにお断りしておきますが、本日ご出席いただいている池田さんは、昨年まで問屋会の会長さんでした。今日ご無理をお願いしたのは、県板の生い立ちから県板のすべてのことに非常に精通されており、いわば組合の生き字引です。外から見た県板という事でいろいろとお話をしたいという、問屋さんと我々業界が将来どう進んで行ったら良いかといった話をお願ひ出来る最適の方とお願ひした次第です。この業界は、戦前のまだまとまりのない時期に大脇さん(瑞穂)が協同組合を作られ活

日比野



組合の設立は、昭和41年1月20日ですが、当時は私まだまだ青二才で山口理事長、朝日さん、柴田さん、栗田さんなどの先輩が居

樽井

私は47年の5月から理事に選任され大した事も出来ませんでしたが大変皆さんに可愛がられ、それ以来皆さんに引上げられ現在の私があります。

平野

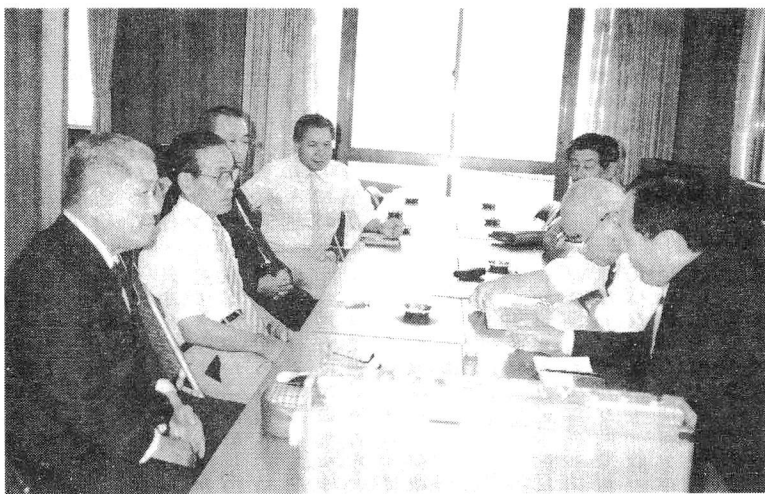
後配給制度が廃止となり、動いていきましたが、戦後協同組合がなくなり一時期任意の団体となっていました。協同組合は例の配給制度があり必要にせまられて作られたものですが、戦後配給制度が廃止とな

す。それから連合会が出来、暫くして全国的に工業組合設立の気運が高まり、全板の指導を受けながら建設三業種が一緒になって設立されたのです。当時愛知県には大手の板金業

つたと思います。私も末席にいましたがなかなか勇ましい人が見えて池田さんも問屋さんとして一番気を使っている問題をもとめて頂いたと記憶しています。

池田

私の思い出と言えば先き程お話の出た昭和12年頃の配給統制時代はキップ制で広小路の富国ビルの裏でキップで材料を渡していました。組合員でなければ配給が受けられないという厳しい時代で、その頃から私は出入させて貰っていました。組合長が大脇さん、専務が栗田さんで当時の役員さんは品物が間に合わない時など大変だったと思います。ある時など役員の主だった方々5、6人で大阪まで仕入れに行かれたが思う様に材料がまとまらず「愛知県中が困っている何んとかしてくれ」と私共に相談がありました。統制時代が終り協同組合が解散した後、新しい組合で職業訓練を取り入れたいという事になり、大きな事業をかかえて発展して来られました。



り協同組合も解散するという話しになった時に、折角団体があるのに解散してしまつては残念だ。板金組合として残そうという意思が各地にあり各地域に板金組合が出来たので

者が非常に多く、弁立つ大物が勢見えましたので初代の山口さんがこれをまとめて組合を設立されたのにはご苦労されたと思います。草分け時代というのはいろいろの事があ

が伝わらない。今業界の動きがどうなっているのか、今やっていることでもいいのかなど時代の变化について行くには矢張り組合の指導によって末端まで情報



日比野理事長が就任されてからは、技能士会が出来たり保険業務を手掛けるとか、本当に多種多様な事業を活性化に行なってみえ、我々問屋も品物を買って貰うだけでいいのかと考えさせられています。私が思いますに、これからの業界は組合に入っていない板金業者は立ち遅れて脱落して行くのではないかと心配しています。特に情報

が伝わるのが大切で、板金業者は全部組合に入って新しい情報や業界の動勢を知るべきだと思っています。今仕事があるからそれでよしとする時代ではないですね。それから組合は役員の奉仕でなり立っているという事を組合員に理解して貰わなければいけませんね。物好きでやっていると思われてはかかないまんからね。(笑い)

我々業者としてもどれだけ皆さんの役に立っているかという事もこれから気を引き締め考えねばいかんと思っています。

清水

愛板200号記念ということで大変お目出たいことです。私が組合に加入した頃は、岡崎に林さんという業界中興の士とも言うべき立派な方が見えました。又なかなか先見の明のある人でした。県板に加入すればこれが全国組織につながり、業界の大きな発展になるという事で、私共もこの呼びかけに応じて林さんについて来たと云えますね。愛板は私達に直接関係する情報を伝えてくれ、全板新聞で全国の動きを知るといふ大切な機関紙だと思っています。皆さんは大きな関心をもつて愛板を見てほしい、愛板が果して来た役割も大きいと思います。しかし、一部の地域では配付の方法に問題があり「新聞でなく古新聞だ」という声を聞き大変残念に思っています。今組合では共同保証事業とか種々の大きな事業が進んでいる時です。ぜひ組合員の皆さんも僕は工業組合の組合員だという意識を新たにしてい、愛板を読んでほしいと思います。

村上



組合が設立された、当時から山口さん、柴田さんなどの諸先輩からいろいろ指導を受けながら組合の仕事を生懸命やらせていただいたことが、当時と比較すると業界も大変な様変わりをして、取付と製作が分離してしまい、技能の育成という面から見るとちよつと淋しい様な気がしますが、これからの指導者は経営と技能をどう両立させるかという面でむづかしい時代ではないでしょうか。

平野

指導者はあまりにも熱心にやりすぎると、ついついワンマンになり易く、良い参謀や後継者が出来ないという誤りをおかし、そのために良きも悪きも全部一人の責任になつてしまふ。皆さんの意見を良く聞いて、組合の仕事はしなければいけませんね。ところで愛知県の組合活動は、青年部の活動も含めて、全国的に見てもトップ

に近い活力がありますね。少し前にもどりますが、職業訓練を組合の事業として取り上げることになり、まず指導員免許を取れということになり、説明会を開いた所「何故そんなものがいるんだ」と喧嘩々となり、説明に来た役所の方も困ってしまった事がありました。しかしこれからの建設業界は何かにつけて資格が必要になりますので、初めの頃はいろいろ説明しても無関心でいざとなつてから慌てる事のない様、組合の情報適確につかんでほしいですね。

日比野

今と十数年前とは業界も大変な変り様だと思ふ。当時はどんな事業をやるにしても、号令一下先に進まなければ事業が達成出来ない様な状況だったし、リーダーシップを発揮して何がなんでも進めたい様な人が必要な時代だったんですね。そうしなければ十人の賛成があつても八人の反対もあるということですが、その頃でいえば矢張り訓練校が出来た事が一番大きな出来事です。私も理事長になった

時に三つの組織がありこれは大変だということとで、組合に委員会制を作り直した。これは大変良かったと思つています。

司会

当時の組織率はどんなでしたか。

平野

尾張地方は当時の役員さんが大変骨を折られてアウトサイダーが少なかった。しかし指導者が変れると、結束が欠けてくる、三河知多地方は組織化をするには尾張を見習えと言われているんですけど、現在ではこれが逆転している。

樽井

組織化を進める時は必ず何らかの反発が出ますね。そんな時愛板の様な機関紙で一般の組合員の方に情報を正確に伝えるという役割は大変重要なことだと思います。

村上

組合も指導者が変わればその運営に変化が出て来るものですが、特に最近では世の中の変化が激しいので、組合員の方々に組合活動に對

する不満があるのではないかと思つています。どんどん皆さんの意見を言ってもらい、組合を活力のある組合にしていきたいですね。

清水

組合も今や組合員の減少傾向にあり大変残念なことです。何とか組織を強化する様な活動がしたいもんで、それから今、会館建設出資金の件で、総務委員会や事務局が、真剣に取り組んでおられるのが充分納得の行く解決が望ましいのでよろしく願ひしますよ。

平野



会館の建設は組合設立の時から念願であり非常に長い年月をかけて出来上つた経緯があります。これから大きな事業を進めていくには中心となるしっかりと組織を作りやうて行かなければ駄目ですね。

司会

愛板が発行された契機について伺いたい

すね。

日比野

組合も多様な事業を実施するようになり、役員会などによる情報伝達方法だけでは組合の活動が正確に伝わらない様になり、これはいかんと栗田さんが最初の労を取られた。文才もあって、一人で一生懸命やられた功績は大きいです。又、当時は七福会という会があったが、このメンバーは組合の御意見番といった存在で、いろいろのまとめをやりましたね。

樽井



日比野

54年に現在の建物の半分が出来て、事務所を移転しましたが、現在事務局になっている方は完成までに大変な苦勞をしました。訴訟問題もあり、半年位、計画より工事が遅れてしまいました。しかし何と言っても会館が出来たのは組合員の皆さんの理解と協力のおかげです。組合のシンボルが出来たということでは本当に嬉しかったです。それまでは、理事長が変る度に事務局も変るという具合で、健康保険や労災保険の手続などいろいろな面で組合員の皆さんに不便をかけた。

樽井

日頃は組合のことで余りお役に立っていませんですが、会館の建設には私としては本当にせい一杯やらせていただきました。会館建設地も二転三転し、訓練校を併設するには、設備や施設の面でむづかしいなど建設着工するまでにいろんな事があり大変でした。

司会

県板会館の建設では

司会

問屋会さんには会館の建設に当って大変なご協力を頂いておりますが、会館が出来たことによるご感想をお願いします。



池田

まず二つの見方がありました。一つはなぜこんなに資金を使っているのか。もう一つは、さすがこれからの時代に即応した立派な計画だということ。私と伊藤さんが当番の時に相談をいただきました。問屋は板金業の方々があってこそ生きて行けるんだ。持ちつ持たれつが一番大事なことだと言った。協力をさせていたいただきました。今は会館が出来た事に、組合員も大いに進歩し活発になって来ましたが、協力させてもらって本当に良かったです。我々問屋もばやばやしておれませんわ。

日比野

あの時は業界の皆さま

ん特に問屋さんには大変お世話になりました。組合員一同感謝しておりますよ。

平野

会館が出来ないまま過ぎていたら組合も今程活発ではなかったと思います。組合員の皆さんとお話し合いをする場所が出来たという事は非常にプラスになっていますね。昔は会議の度に他所の事務所を借りたり、場所がないからと料理屋の座敷でやっていてはいけませんよ。

司会

理事会も銀行の会議室とか、転々とした記憶がありますね。

日比野

会議の場所や日時を決めるのに、大変困った時代がありましたね。この頃から組合に委員制を導入したと思います。

司会

では最近の話題を少しお願いしましょうか。

平野

これは問屋を中心として、メーカーも含めた話し合いの場で話題

とすべきことかも知れませんが、工業組合も共同保証事業が発足したところですが、今巷ではカラー鉄板の粗悪品が出回りつつあります。組合としては共同保証をやるというが粗悪な品物しかないとなったら我々業界としては仕事が出来なくなってしまう恐れがあります。問屋さんは折角ある良い品物例えば保証鉄板などを売る努力をしてほしいですね。

池田

共同保証という良い制度を作られたのに、われわれ業界が良い材料を使っていたら、何んにもなりません。この機会に組合とタイアップしてやっていくようにしなければいけません。

安がないわけでもありません。悪い波紋が広がることを心配しています。

日比野

特にお願いしておきたいのは、亜鉛鉄板問屋会の会員は、そうした品物は取扱わない様にしてほしい。そうしなければ組合としても「問屋会から品物を買って下さい。」と言える。

池田

今、高速道路や鉄道の沿線を見ると、トタンの錆の標本を並べている様なものだと思います。その上に粗悪品を使ったりしたら、施主に対して面目がありません。折角技術を磨いて共同保証、責任施工という立派なことをやって頂いているの



に、材料が悪くては何んにもなりません。しかし、今お話しのことば言えませんが、組合としてこの問題を取り上げて頂ければ大変有難いことですし、そうしなければ作る方も自棄するんじゃないかと思っています。

平野

外部輸入を含めてこうした問題に対処して行くには、問屋さんを頼りにする外ありません。ぜひそうした品物を扱わない様にしてほしいし、組合も厳しい対応が必要だと感じています。問屋さんも全県一本という考え方で対処して下さい。

池田

私共としては、ぜひそうした品物をお買上げ頂かない様皆様をお願いしていきます。

樽井

指定された材料が入手困難な時がありますが、例えばロットの関係等で、しかしPRするときはどんな種類でもすぐ間に合う様な言い方をされる。良い材料を使って、保証事業に、乗って行くため

には、大量に買わなければ、その品物は手に入らないでは困りますので、特注品などはカタログに明記するか、説明をはっきりしてほしいと思います。

司会

では時間もあまりありませんが、工業組合の将来の展望とか、愛板の進むべき方向などについてご意見をどうぞ。まず愛板の内容など何かありませんか。私も委員長をしていて悩んでいるのですが、原稿がなかなか集まりませんね。

日比野

これは何処でも共通の悩みだろうと思う。全板新聞でも各県からの投稿が少なく弱っている様です。それから日時の制限のない重要な記事は二度、三度と重ねて出すと良いと思いますが……

樽井

愛板の投稿を年間計画の中で地区別当番制にしたかどうかと思う。

村上

委員長の苦勞は解るので、今提案のあった当番制も一つの方法で

あるし、皆さんに投稿をお願いし採用した方に粗品を進呈したらどうですか。

司会

一般の投稿にはお礼を出すことにしていますが、皆さんご存知ない？これはもつとPRしなければいけないね。

清水



組合員だより、例えば家族紹介、工場訪問など新しい企画も考えてみたらどうですか。

池田

私共は外から見た機関紙の感想ということですが愛板が来ますと社員が喜んで回し読みしています。組合員の動勢とか、組合の事業のことが良く解りますから皆んな喜んで読んでいます。原稿の集収に困って見えるというお話しですが、問屋会へも投稿依頼を住宅情報委員会にしてみたらどうでしょう。

隣県対策もやっていますし新しい情報交換の場が出来るかも知れま

せん。

司会

ではこの座談会の終りに望み県板の将来について一言づつお願い致します。

日比野

共同保証事業も長い年月をかけたんですが、やっと発足することが出来ましたので、この事業を一層充実させて全組合員に参加してもらって我々業界の信頼度を益々高めて行きたいと思っています。

平野

先程から共同保証について、いろいろ話が出ていました通りでしっかりした技術で良い材料を使って仕事をすれば自然に顧客の信用が増してくることは当然のことであり、そうした良い環境を作ることは、息子達後継者に対しても良い影響を与える。組合員が丸とたつてこういう方向に進めば、組合も活力が出て来るし、皆んなが喜んで後を継いでくれる様な業界にしたいですね。

村上

ここ二・三年組合員

の減少が目につく様な状況ですが、組合の活動を充分理解してもらって組合員の確保増強に努力して行く必要がある。後継者不足、経営不振などその原因はいろいろあると思うが減少の原因を究明することも大切な事でありどうしたら組合の活動と組合員の発展とつながるのかということも将来考えて行きたい。

樽井

組合の活性化と言うことが良く言われていますが、これは組合が取り上げる事業を一つ一つ皆んなで盛り上げて行くということでしょうね。これからも組合はいろいろな新しい事に取組んで行かなければならないと思いますので、愛板などをよく読んで貰い、大いに関心を持って貰いたいですね。

清水

今言われた新しい事業も大切ですが、現在組合がやっている事業にも関心をもってもらいたいですね。例えば健康保険とか労災保険などでも組合員の皆んなが工業組合のやっている保険に加入してくれる

ば財政的な面から、予猶が出て来て新しい事業に取組めるといった具合です。どしどし組合を活用して皆んなが喜べる組合にしたいと思っています。

池田

今皆さんのお話を伺って、私共も非常に心強く感じました。何んといつても板金の皆さん有つての我々です。皆さんの組合ですからこれを盛り上げて良い材料で良い仕事をし発展してもらおう、これしかりありませんね。組合員の皆さんの益々の活躍を願っています。

司会



有難うございました。長時間にわたり、組合の過去から未来までいろいろ有意義なお話をして頂きましたのでこの座談会の様子を皆さんにもお知らせして今後の糧にしたいと思ひます。

お忙しいところ本当に有難うございました。特に私が誇りに思ひ且又載せ甲斐のあったのは「鯉鉾」による

愛板二〇〇号に寄せて

(敬称略)

元副理事長 栗田政雄

「新聞発行の苦勞と喜び」

二〇〇号達成おめでとう。と先づ申し上げるが、私としては心から苦勞様と言わずにはいられない。ことは素人の新聞発行はむづかしい。原稿・編集校正をえて発行にいたる。その間の苦勞が身にしみてわかる私であるからである。と言うのは自慢話になるように恐縮だが、四二年七月に第一号を出して以来、五十年五月の八三号まで、一人で原稿書きから発行までやってきたからである。

最初の「一・二」号は東京の清泉氏に教えて貰ったが、その後は毎号追われの苦勞の連続であった。然し難儀はするものの、出来上った新聞を見ると一とときの苦勞も忘れて嬉しくなるもので、この気持は現在それに当っていられる組合の方々も同感であろうと思う。

特に私が誇りに思ひ且又載せ甲斐のあったのは「鯉鉾」による新聞の発行はこの心が大切であろうと思う。自分で発行した当時、

何も仕得なかったことを今になって反省し、詫びなければならぬ思いが一杯である。兎に角、心して新聞

を続けて頂きたい。組合と組合員とを繋ぐ掛け橋であるからである。最後にもう一度ご苦労さまと申し上げる。

初代広報委員長 松井 住

発刊二〇〇号大変お目とございます。県板が、委員会制度を発足したのが五十三年と記憶しております。始めての広報委員長を仰せつかり柏子木なら自信がありますが、ペンの方では請求書を書くのも苦手と言う者です。で大変面喰らいました。最初は元事務局長の鈴木さんの手ほどきで始めました。月刊紙ですので、毎月の広報委員会日の来る日の早いのに驚きました。鈴木さんの話に依ると全国の板金新聞の中でも月刊紙は愛板と東京都板だけと聞きました。創刊号から愛板を手懸けられた栗田元副理事長さんが非常に博学で、筆まめでおられたのは唯々頭が下がりました。

た。栗田さんが八〇号位まで担当された後、事務局が担当され一〇〇号代になって広報委員会が引き継ぎました。当初は中々記事が無くメーカーさん、問屋さんの代表者又色々な方に投稿をして頂き紙面を埋めるのに四苦八苦の連続でした。愛板、全板新聞が組合員の皆様の手元に届くのが、たとえば一月号とすれば二月中に読むことができれば最高だと思えます。五十三年から三年間広報委員の皆様と苦楽を共に出来た事は今から思えば、大変倅せでした。これからの愛知県板が続くかぎり愛板も栄えあれと。

「愛板」が一〇月号で第二〇〇号を迎えるとのこと慶賀に堪えませんが、特集号計画につき何か想い出をとのお手紙である。誠に光

沿革を知り、現在を把握することだと、考えた。ファイルを見たが、欠刊が多い。そこで「愛板」第一号から第八三号までを発行された元副理事長栗田政雄氏に電話して事の次第を申し上げ欠刊のご提供をお願いに及んだ。突然怒鳴られた。貴重なものを紛失するとは何事だということだ。栗田さんの、お叱かりは当然である。しかし、私のあずかり知らないところである。兎も角、栗田氏宅を訪ねた。種々お話をうかがった。そして、私の要請を、心よく受け入れられた。かくて第一号一第五〇号、第五十一号から第一〇〇号までの、二冊のファイルが、完全な姿で、書棚に納まった。これは板金組合の大切な、歴史資料である。栗田さんに、心からの敬礼を申し上げる。

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

「愛板」が一〇月号で第二〇〇号を迎えるとのこと慶賀に堪えませんが、特集号計画につき何か想い出をとのお手紙である。誠に光

沿革を知り、現在を把握することだと、考えた。ファイルを見たが、欠刊が多い。そこで「愛板」第一号から第八三号までを発行された元副理事長栗田政雄氏に電話して事の次第を申し上げ欠刊のご提供をお願いに及んだ。突然怒鳴られた。貴重なものを紛失するとは何事だということだ。栗田さんの、お叱かりは当然である。しかし、私のあずかり知らないところである。兎も角、栗田氏宅を訪ねた。種々お話をうかがった。そして、私の要請を、心よく受け入れられた。かくて第一号一第五〇号、第五十一号から第一〇〇号までの、二冊のファイルが、完全な姿で、書棚に納まった。これは板金組合の大切な、歴史資料である。栗田さんに、心からの敬礼を申し上げる。

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

「愛板」が一〇月号で第二〇〇号を迎えるとのこと慶賀に堪えませんが、特集号計画につき何か想い出をとのお手紙である。誠に光

沿革を知り、現在を把握することだと、考えた。ファイルを見たが、欠刊が多い。そこで「愛板」第一号から第八三号までを発行された元副理事長栗田政雄氏に電話して事の次第を申し上げ欠刊のご提供をお願いに及んだ。突然怒鳴られた。貴重なものを紛失するとは何事だということだ。栗田さんの、お叱かりは当然である。しかし、私のあずかり知らないところである。兎も角、栗田氏宅を訪ねた。種々お話をうかがった。そして、私の要請を、心よく受け入れられた。かくて第一号一第五〇号、第五十一号から第一〇〇号までの、二冊のファイルが、完全な姿で、書棚に納まった。これは板金組合の大切な、歴史資料である。栗田さんに、心からの敬礼を申し上げる。

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

三和式屋上換気扇
三和式ベンチレーター株式会社
本社 愛知県稲沢市高重町53 TEL.0587(32)4168 千492

昭和支部

驚見

収

私達は、毎日見ていて、新聞やテレビによって、色々の情報を見たり聞いたりしています。早起きの人など新聞の来るのが待ちどおしいくらいだと思ひます。新聞休刊日などは、どうも足りない気がします。

ところで我が愛板は、いかがでしょうか。届くのが待ちどおしい、そんな愛板でありたいと思ひます。板金業の情

報紙として皆さんの役に立てばと思ひますが、ともすると、講習会など、申込日が過ぎてしまつてからだったり、行事など終つてゐることがあると思ひます。早めに載せられればいいのですが、記事を集めるのが大変です。どうしても事後報告の記事が多くなると思ひます。各支部の行事を早めに広報委員にお知らせ下さい。

つてか出席は毎月半数ぐらゐです。以前には記事が無く発行されなかつたと聞かれています。また十二月号は年末の仕事が忙しい時期なので、やはり発行されない年もありました。創刊から二十年になりましたが、そんな月もあつて、二〇〇号が近づいて、遅れたと思ひます。でも記念すべき『二〇〇号』です。

私は広報委員になった頃、あれも書こうと、こんなことも書こうと、意気込んだものです。しかし原稿用紙に鉛筆を立ててみるとさて何から書いていいやら頭の中では思つていても文章にならないのです。書きたいことは山ほどあるのですが、今後一層努力勉強して頑張りたいと思ひます。『二〇〇号』を期に多くの

人、いろんな会また現場へ取材してみたいと思つてゐます。組合員の中にも組合に対する意見や、仕事の参考に

なるような話がたくさんあると思ひます。私に声をかけて下さい。仕事の都合がつけばどこへでも出かけていきます。委員長はじめ

先輩委員にまけないよう、広報委員十二名の一人として一生懸命頑張ります。よろしくご支援ご協力をお願い致します。

又今日紙上に見られる各種講習会は、我々の技術の糧となります。そして技術の永続向上という事になると、それを受け継ぐ側の啓蒙活動も必要です。

知多支部

沼澤啓二

正並びに発行とすべて一人でと印されていた頭の下がる思いで時代と共に歩んだ愛板、愛板の背景が思い浮ぶ、私達は諸先輩が築かれたこの偉大な業績即ち、血と涙と汗の結晶をむだにすることなく200号を記念し、より良い環境の中で21世紀に向つて会員の皆様方と共に尚一層の発展に寄与し親しみある愛板の編集に取り組み豊富な内容を充分に生かし充実した紙面を提供しなければと痛感させられた。会員の皆様方一人一人が大いに活用して頂き意義ある愛板に育

てることが私達の使命と考へ大いに投稿して頂き討論の場となる事を期待します。

掛斐高原では、すすきの花はすでに枯れ尾花となり、稲の取り入れも終り、冬仕度が進んでゐた。仕事に着工した時はあぶら蟬や、ツクツクボウシの鳴く緑の濃い山もすでに色づいてゐる。『愛板』も最早200号を迎える事になりました。広報委員ができて七ヶ年、一年毎に顔ぶれも変わり多くの方に編集に携つて頂いたが、一宮地区の私は後継者のできるまでのつもりが、役立たない古株になつてしまつた。お蔭で、それまで途中で息切れすることなく続けて来られた。先輩達の苦勞がよくわかつた。家庭で

きびしいものですが、これを乗り越えて、後輩に伝えて行かなければなりません。新聞『愛板』もその一つです。県内の同一業者者一つ輪につなぐ新聞は、我々にとつても大きな力となつてくれるでしょう。先輩から受け継いだ財産をより一層大きな力にする為にも、組合員皆様方のコミニケーションの場として、今迄以上に新聞が充実される様望んでゐます。

一宮支部

佐藤忠雄

毎朝目を通す新聞は、ニュース性が濃いものであり、昨日の新聞など余程の事がない限り見る気もしない。

機関紙『愛板』においては、組合の運営とか、業界の現在、過去、将来を考える上には遅配が取り沙汰されてゐるが行事などの催事の予告は過ぎてから新聞が手に届く事があると思ひますが、必要な事は期日までに、支部長を通じて連絡するシステムなので、それほど問題ではないと思ひます。それより新聞を見ずに、その場で拾てくるか、残しておいて後で目を通すかが問題だ。新聞の内容も、以前は本部の事

業報告が中心であつたが、今は各地区から編集委員が記事を集めてゐるので、地方のニュースも多くなり業界が知らぬ間に大きく変わつてゐる。一宮地区に於ても以前大きな物件があつても一人親方や小人数の業者が多いので、手も出せなかつたが、今、青年部を中心に団結力があり工場や体育館のような工事でも毎日10人や20人の助っ人を集めて平然と現場をこなしてゐる。ここの二年受注のムラも多く従業員は確保もむづかしい時には理想的な経営方法と思ふ。職人一人の私など本来締めるべきお寺の本堂の銅屋根工事など、職人は従来の現場に、私と助っ人50人区位で契約期間の半分で納められたのも横の連りのおかげと思ふ。身近なところで大手スーパーに食われた八百屋やクリーニング、金物店など一時代の繁栄に甘んじ時代の流れに乗り遅れ店じまいした話を聞くと他人事ではない。地域だけでなく、広い範囲の情報を得るには『愛板』『全板』の新聞は最良の情報源と思ふ。

津島支部

水谷充志

「愛板」200号発行おめでとう、毎月この新聞を読む度に、その紙面の多彩な事に驚きま

す。組合の行事は言うに及ばず、組合員の福利厚生、安全対策、親睦等の広範囲なもので

「愛板」の歴史は、諸先輩の努力の足跡でもあり、紙面を通して彼等の活躍が偲べれます。

「愛板」の歴史は、諸先輩の努力の足跡でもあり、紙面を通して彼等の活躍が偲べれます。

支部だより

第8回 全板青年部
競技会入賞祝賀会開く



全国大会第三位に入賞した岡崎の山本和義君の祝賀会が7月5日午後7時から岡崎職業訓練校で盛大に行なわれた。山本清組合長をはじめ35名程出席し、組合長、県板青年部長、技能士会の挨拶のあと山本和義君が大会当日に体験したいろいろな話があり、さきの第三

回で入賞した斉藤君の乾杯でパーティが始まり青年部の奥さんが前日から準備された手作り料理がたくさん並び、楽しい雰囲気の中9時30分に無事終了した。前日より当日にかけて準備して下さった奥さんたちにお礼致します。

岡崎 高柳

第1回 西三青年部
ボーリング大会開く

西三青年部は、7月9日知立イーグルボーリングで第1回のボーリング大会を行なった。当日は平日の夜とあって予約した人数より減り38名が参加、8時15分スタート2ゲームのトーナルの競い、1フレームで最高206を出した西尾の稲垣さんが優勝、2位豊田の赤池さん

勉強会開催

銅板エッチング及び腐蝕について

県板青年部岡崎支部

当支部は7月26・27日岡崎職業訓練校に於いて勉強会を行なった。今回は各自のネームプレートを製作した。3ミリ程度の銅板を硝酸に漬けるだけで図柄が彫り込めるもので、彫りたくない部分はグランド（防蝕膜）でマスキングし、あとはエッチングの時間を加減することで彫りの深さを調整できる。何分始めてのことで製作途中問題点も出たが、何とか全員仕上げる事ができた。この後高柳一男氏を講師に、銅板の



特性から数年前問題になった銅谷樋の穴あき等銅全般にわたり講義をしていただきました。梅雨明けの多忙の時にかわらず多数の方に参加していただきました。



▲親子にここにこ
焼肉パーティー

開く

8月23日午後6時30分より矢作川堤防に於て岡崎板金技能士会役員、石原西三会長、内山岡崎部長、をはじめ加納、山内、中村（幸）中村（充）、山本氏の7家族で楽しい夜のひとときを過しました。肉は本場の北海道の知人からの贈りもの、特別やわらかく口の中であける様なおいしき夜空を眺めながら皆さん子供にかえてギアーギアワイワイ奥き

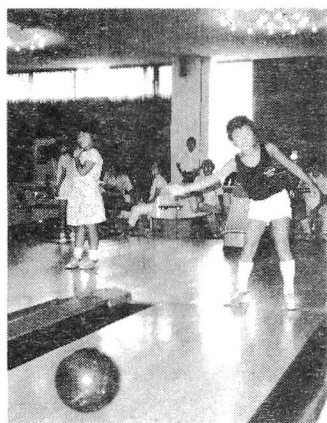


おいしいね！

岡崎板金工業組合

第二回ボーリング大会開く

9月7日、岡崎クラブボーリング場に於て、岡崎板金組合員とその家族と従業員総勢100名余りが集まり3F



スピードは遅いがストライク

25レーン全部を貸切って盛大に開催した。午前9時集合、山本清組合長と来賓の挨拶の後、始球式が行なわれ9時30分に一斉にスタート、ゲームは一人3ゲームで全員投げ終ったのは11時頃、賞品は今日のために特別委員（7名）が一ヶ月程前から、トロフィー、バケツ、ティッシュペーパー、洗剤、ジュースなどなどたくさん用意した。最後に山本清組合長が1位から最下位の人まで一人一人に順序よく賞品を渡した。今回は特に家族のチームがたくさん参加され楽しい雰囲気終了した。

終り楽しく帰路についた。 岡崎 加納

スポーツ

女性の長電話は高校時代から始まる……

N T Tが都内の中・高校生四百人を対象に電話利用状況を調査。電話を受ける回数は、週四・一回。かける回数は五・四回。

かける相手は同性の友だち九九％。異性の友だち一五％。天気予報などテレホンサービス。一回の通話時間は平均十四分だが、女子は中学生十一分が高校生になると二十八分と長くなる。

ヤブ医者とは本来「名

医」だったが、いつの頃から自分に合わない医者を下すな医者としてヤブ医者と言う様になった。語源のヤブは個々の国に数と言う医者があつた。難病をも治すと言う大変な名医。次から次に数先生を尊敬して門下生が増え、やがて独立し開業。数医者の門下である看板を出すも数先生の様に治療が出来ず怒った患者がこのヤブ医者めつと言ったことから数医者名に非ず下手な医者の代名詞となった。(F)

製造事業所のみなさんへ

工業統計調査等について

お願ひ

愛知県企画部

本年も12月31日現在で、「工業統計調査」、「石油等消費構造統計調査」が通商産業省所管のもとに実施されま

す。この調査は、我が国の製造業のすがたや製造活動の状況を明らかにすることを目的としています。本年の「工業統計調査」は、従業員4人以上のすべての製造事業所と、従業員1～3人の特定業種の製造事業所を対象とします。また、従業者30人以上の事業所につ

いては「石油等消費構造統計調査」が、同時に実施されます。12月下旬から1月にかけて、知事から任命された統計調査員が、製造事業所のみなさんのところへお伺いします。調査によりしく御協力ください。

照会先

愛知県企画部

統計課工業担当
電話052-961-2111
内線403・2464

又は最寄りの市区町村統計主管課

編集後記

れなりに評価されるものである。

これから二五〇号、三〇〇号と「愛板」には大きな期待がかかっている。今月こうして二〇〇号の編集が出来

る事は委員会一同何ものにも変えがたい光栄であると共に今後一層の努力と紙面の充実を

図り一日も早く古新聞を新聞と言われる様にしたいものである。

9月29日(月)晴、200号編集会議委員6名出席

午後6時終了(S)

組合の保険に

加入してください!!

・組合は 組合員

家族

従業員の方々の保険業務を行なっています。

・組合員の健康と安全はみんなの願いです。組合の保険に加入して組合を大きく育ててください。

保険の種類

・全国板金業国民健康保険

保険給付の内容

① 医療費

② 高額療養費

③ 傷病手当金

④ 助産費

⑤ 育児手当金

⑥ 出産手当金

⑦ 葬祭費

・労災保険

保険給付の内容

① 療養補償

② 休業補償

③ 傷病補償

④ 障害補償

⑤ 遺族補償

⑥ 葬祭料

業務上の事由または通勤

傷病にかかったとき

身体障害が残ったとき

死亡したとき

(保険料)			
組合員	月額	9,200円	
家族(1人につき)	月額	2,600円	
支部手数料	月額	300円	
加入手数料	加入のとき	1,000円	

◎くわしくは組合事務局へお問合わせ下さい。

TEL 052-732-1226



雨樋受金具専門店

ステンレス軒とい受、樹脂でんでん(ワンタッチ)

各種サイズあり、お問い合わせはセンター迄

ペリカン西濃販売センター 岐阜県本巣郡本巣南町十七条 46 ☎ 058328-2871